

未来につなぐお人柄



エス! エス! エスディーゼス

SDGs



のみSDGs
ホームページ



間 / 生活環境課 SDGs・カーボンニュートラル推進室
(☎ 58 - 2217 ✉ kankyo)

SDGs & カーボンニュートラルに参画しよう「子ども食堂」

子ども食堂は、みんなが集まってごはんを食べたり、お話ししたりしながら交流しあえる場所です。お世話をしてくれているのはボランティアの皆さんです。お家で余っている食材を提供してこの活動を応援しましょう!



子ども食堂が貢献している SDGs のゴール

2 飢餓を
ゼロに



ゴール② / 飢餓をゼロに

ごはんが十分に食べられない人に食べ物を提供し「おなかがいっぱいの人をなくす」ことに役立っています。

12 つくる責任
つかう責任



ゴール⑫ / つくる責任 つかう責任

お家で食べきれなかった食べ物や、まだ食べられるけど捨ててしまいそうな食べ物を子ども食堂に提供することでムダを減らすことができます。

3 すべての人に
健康と福祉を



ゴール③ / すべての人に健康と福祉を

バランスのとれたごはんを食べることで、元気な体をつくることができます。

13 気候変動に
具体的な対策を



ゴール⑬ / 気候変動に具体的な対策を

食べ物をムダにしないことで、燃やすごみの量が少なくなり、CO₂ (二酸化炭素) を減らすことができます。

食べ物のムダとCO₂

日本では、毎年 472 万トンの食べ物が食べられるのに捨てられています (食品ロス)。国民 1 人あたりで考えると、おにぎり 1 個分 (約 103g) の食べ物が毎日捨てられていることになります。

食べ物は作られるときはもちろん、捨てられるときも、たくさんCO₂が出ます。CO₂は温室効果ガスの主なもので地球温暖化の原因となるものです。

私たちにできること

もしまだ食べられるけど余っている食べ物があれば、子ども食堂やフードドライブに寄附することで、困っている人の助けになります。そうすることで食べ物が捨てられずにその分のCO₂も出なくて済みます。

例えば

おにぎり 1 個をムダにすると約 57g のCO₂が出ます。これはテレビを 1 時間つけっぱなしにするのと同じくらいのCO₂です。